

聖殖者

花房歩夢

奈落の底にも穴があった

ただ、

新緑の少年らは留まることを知らない

どこまでも行け、どこまでも行け

きっとこれからも、みんなの言う二人組になり続けなきゃいけないくて、できた二人組はまた二人組を生み出さなきゃいけないくて、一体いつまで続くんだろう、そんな不揃いな未来を幸せって呼ぶから、幸せになれないのがバレないように、昨日ばかり生きることになった、本当は殖えたいんじゃないかって出会いたかったただけなのに、この両手で撫でられるくらいの距離に未来があればよかった

破水、

溜息とぬいぐるみだけの待合室

天国の入口の音楽と、葬式会場の出口の音楽は似てるらしい

脳漿よ羊水に変われ、性欲が生殖の為にあるなら挿入行為を伴わない性行為を法律で禁止しよう、脳漿よ羊水に変われ、性欲が生殖の為にあるなら避妊具の販売を法律で禁止しよう、脳漿よ羊水に変われ、性欲が生殖の為にあるなら自慰行為を法律で禁止しよう、脳漿よ羊水に変われ、結婚が生殖の為にあるなら生殖しない男女の婚姻を法律で遡及的無効にしよう、それだけじゃなかったのにそれだけにされて、全部無意味で無駄でこんなにも

破水、

不幸せじゃないと安心できなくなった身体で

鴨居にぶら下がる牽引ロープ

適当なハグなら

機械だって人形だってできる

祈りは絶望に似てるから祈らないことにした

ただ、

密葬したあの人を家族と呼びたい

土葬すれば針葉樹林が拡がって

もうすぐ夏だなんて呟いて

トンネルを抜けると、背高草が生い茂っている

そういうえば本当は走ることが好きだった

ぼくへ

きょうもうまれてきてくれてありがとう

あしたはじぶんのことつたえてみようとおもいます

ぼくへ

きょうもうまれてきてくれてありがとう

だめでした

びょうきだっておもってしまいます

しょうがないよね

ぼくへ

まただめでした

きょうがだめでもあしたはっておもってしまいます

あしたをあしたとよびたいとおもってしまいます

こんなじぶんがだいきらいです

ぼくへ

きょうもうまれてきてくれてありがとう

きょうもだめでした

ごめんね

でもあぶないからかくれてね

もうすこしだけまってね

ちゃんとむかえにいくからまってね

もうすこしだけまってね

手を繋いで歩くお父さんお母さんの背中
の陰に隠れて謝罪する必要なんてどこにもないって、そのまま良いって言ってあげてください、やっちゃいけないことはいっぱいあっても、思っちゃいけないことなんて何一つないって、そのまま良いって言ってあげてください、その性欲が生殖に繋がらなくても、これからも明日のまだ知らない自分に出会えるんだって、それも立派な未来だって、そのまま良いって言ってあげてください、いまあしたにいのちを繋ぐんだって、あしたのじぶんを生むんだって、それも生殖って呼んで良いんだって、それだけで良いって言ってあげてください

奈落の底にも穴があった

ただ、

そこから出口が拡がって

破水、

墓暴きみたいなのその怒り

どうしても愛情に似てしまうからたちが悪い

新緑の少年らは留まることを知らない

今度はこちらを置いて行くくらいに
どこまでも行け、どこまでも行け